

中国建設科技集団股份有限公司の最近の業務概況

中国建設科技集団股份有限公司 総裁弁公室 主任 趙旭

(スライド1、2)

尊敬する橋本理事長、井上理事長、ご来場の皆様、こんにちは。

これから、当社の基本情報と近年業務状況についてご説明させていただきます。

中国建築設計研究院の前身は、1952年に設立した中国中央に帰属する設計会社でございます。

(スライド3)

2000年3月、建設部の決定によりまして、中国建設部建築設計院と、中国建築技術研究院、中国市政工程華北設計研究院と、建設部都市建設研究院、4社を合併して、中国建築設計研究院になりました。今、国務院国有資産監督管理委員会に帰属しております。

2014年の6月、国務院の許可をとって、中国建築設計研究院が主な発起者として、その下の子会社、資格、主な業務などを全部含めて、中国建設科技グループが設立されました。

(スライド4)

グループの設立からの期間はまだ短いので、今日はその点を主にご説明したいと思います。

当グループの従業員の数は、約9,300人で、ハイエンド工学技術者の数は、国内業界で一番多いものでございます。

主な業務としては、都市農村計画と建築事業、インフラと景観及び文化遺産保護をめぐって展開しております。現在、中国で唯一の都市農村建設に関する専門分野を全部カバーできる技術系会社でございます。

(スライド5)

当グループは、今、11の会社を持っております。

その中のシンガポールのCPGグループは、海外の企業で、その前身は、シンガポール工事事務局、シンガポール国家設計院でございます。

国内での中国建築設計院、中国インフラ工事事業化建設院、中国都市建設研究院、中国建築標準設計研究院、中国建築設計コンサルタント会社は、それぞれの専門分野では有名な会社でございます。

先ほど、日本建築センターとベターリビングでご紹介いただいた業務は、その中の中国建築標準設計研究院と中国建築設計院の業務と重なるところが結構多いと思います。

深圳華森建築設計コンサルタント会社は、中国最初の耐震設計会社でございます。

上海中森建築設計コンサルト会社は、上海で組立式住宅技術の面で実力がある企業でございます。

それ以外に、専門的な投資会社、工事会社、及び60年の歴史がある建設科技情報研究院を持っております。

(スライド6)

次は、当グループの近年の業務状況をご説明いたします。

(スライド7)

2012年、シンガポールCPGグループの買収以降、当グループは国際建築設計グループになりました。

2014年の6月、グループの制度改正が成功しまして、新しい展開に入りました。

2015年、当グループの年収は約70億円、総資産額は95億円です。2015年のENR及び中国「建築時報」の中国工学設計企業の第3位で、建築設計業界の第1位の評価を得ました。

(スライド8)

次は、先ほど言った3つの面から、近年の当グループの成果をご説明いたします。

組立建築分野のBIM技術の面についてご説明します。なお今日の会議テーマであるエコ建築技術については、後ほど賀静さんからご紹介します。

当グループは、2025年、組立式建築が新規建築の3割を占めるという目標に対応して、積極的な試みをしまして、今、組立式コンクリート技術、スチール構造技術、組立式内装技術、BIM技術という4つの分野で革新的な成果を上げました。

プレキャスト技術を使って、国内最初の分譲住宅プロジェクトを完成しました。そして、現在、中国国内でプレハブ率が一番高いプロジェクトを完成しました。スチール構造技術について、国内最初のモジュラスチール構造住宅プロジェクトを完成しました。スチール構造住宅20集積技術システムを開発しました。中国最初の内装工業化技術集積モデルプロジェクトと、最初の百年住宅モデル住宅プロジェクトを完成しました。

(スライド9)

近年、空港の分野で大きく進展がありまして、スーダン・ハルツーム新国際空港、ベトナム・ダナン国際空港、中国・アモイ翔安新空港を設計しています。

(スライド10)

2015年11月、当グループは、中国に適合する設計システム、いわゆる「CBIM トータル技術プラットフォーム」を発表しました。このプラットフォームは、BIM 技術ツール、BIM 協同マネジメントプラットフォーム、クラウドデータベース、BIM トレーニング、4つの部分を含んだ、BIM 技術のトータルソリューションでございます。

(スライド11)

近年、当グループは、スポンジ都市と共同溝の分野で新たな試みを始めました。

標準作成については、『都市共同溝の国家建築標準設計体系』『スポンジ都市建設の国家建築標準設計体系』を作成しています。当グループは、今、スポンジ都市建設特別研究を行っています。この研究は、基礎研究・ビジネスモデル、トータルサービスプラン、特別技術研究及び運営管理研究の4つの技術システムがあり、合計19のテーマがあります。

特に、成果の面で、今年、スポンジ都市（共同溝）建設発展センターを立ち上げまして、中国5都市をサポートして、国のスポンジ都市と共同溝の実験都市に入選しました。

当グループは、現在、PPP形式で8億元を投資して、今、映しているスライドの2つのプロジェクトを実施しています。そして、このプロジェクトの実施は、技術理論と実現を結びつけることを実現しました。

(スライド12)

2015年、当グループは「土司遺跡群」を世界文化遺産に登録しました。今も文化遺産保護計画の分野で世界一流の地位を保持しております。

以上、当グループの業務紹介を簡単にしました。当グループは、先ほど説明した分野である程度の成果を上げましたけれども、これらの成績は、国内と海外の応援なしにはできません。

特に、組立式建築分野で、日本の国土交通省、日本建築センター、ベターリビングをはじめ、関連会社にサポートしていただきました。これからも応援を続けていただけることを願っています。

私の発表は以上です。ご清聴ありがとうございました。